

ブラジル中銀は中立的なリスク判断の姿勢を示す

- ブラジル中銀は新総裁参加の初会合で政策金利を据え置き。声明文では足元のブラジル経済の弱含みを指摘。
- ブラジル中銀は物価下振れリスクと物価上昇リスクは対称的になっていると述べ、中立的なリスク判断の姿勢を示す。
- 政府は軍人の年金改革法案を議会へ提出。財政収支の改善効果は10年間で104.5億リアルと小規模に留まる。
- 軍人の年金改革法案の提出によって政府の年金改革提案が出揃う。今後は議会での年金改革審議が本格化へ。

ブラジル中銀は政策金利の据え置きを決定

ブラジル中央銀行はロベルト・カンポス・ネト新総裁にとっての初会合となった3月19-20日の金融政策委員会(COPOM)において、政策金利を6.50%に据え置く決定を下しました(図1)。COPOMの声明文では、ブラジル経済が依然緩やかな回復軌道にあるとの判断を示しつつ、最近の経済活動が予想を下回る傾向にある点を指摘しました。

ブラジル中銀は中立的なリスク判断の姿勢を示す

今後のリスクに関して、前回会合では「年金改革審議の不透明感」や「新興国経済の見通し悪化の可能性」などの点から、ブラジル中銀は先行きの物価上昇リスクをより注視する姿勢を示していました。一方、今回の会合では、ブラジル中銀は景気回復の弱さに伴う物価下振れリスクと上記の物価上昇リスクは対称的になっていると言及し、より中立的なリスク判断の姿勢を示唆しました。

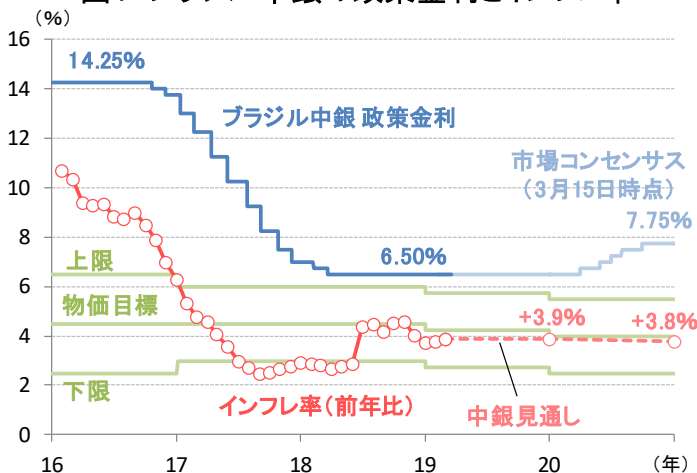
声明文の後段では、「ブラジル経済の今後の行方を注視することが重要である」、「こうした評価には時間を要し、短期間では完了しないだろう」と述べられました。当面のブラジル中銀の金融政策は、年金改革審議や経済動向を注視しながら様子見が続く可能性が高そうです。

政権は軍人の年金改革法案を下院議会へ提出

また、ボルソナロ政権は3月20日、懸案となってきた軍人の年金改革法案を下院議会へ提出しました。政権は軍人向け年金改革によって今後10年間で973億リアルの歳出削減を見込む一方、軍人給与引き上げなどの譲歩により868.5億リアルの歳出増を計画しています。結果、軍人向け年金改革全体での財政収支の改善効果は104.5億リアルと小規模なものに留まる見込みです(図2・④)。

軍人の年金改革法案の提出によってボルソナロ政権の年金改革提案が全て出揃ったことで、年金改革の議会審議がいよいよ本格化することになりそうです。

図1:ブラジル中銀の政策金利とインフレ率



(出所)ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)
 (期間)政策金利:2016年1月1日~2019年3月20日
 拡大消費者物価指数(IPCA):2016年1月~2019年2月
 (注)ブラジル中銀のインフレ見通し(市場シナリオ)は、政策金利と為替レートの予想前提に市場コンセンサスを使用したもの。

図2:ボルソナロ政権の年金改革法案の財政効果

項目	今後10年間 財政収支改善効果
民間労働者向け年金改革(①)	6,874
民間労働者向け年金改革	7,150
民間労働者向け年金保険料の変更	-276
公務員向け年金改革(②)	2,028
公務員向け年金改革	1,735
公務員向け年金保険料の変更	293
社会扶助給付金(BPC)の減額(③)	1,822
民間・公務員年金改革(①+②+③)	10,724
軍人向け年金改革(④)	104.5
軍人向け年金改革	973
軍人給与引き上げ等による歳出増	-868.5
年金改革全体(①+②+③+④)	10,829

(出所)ブラジル経済省 (注)単位は億リアル。
 ①~③は2月20日に議会へ提出された年金改革法案。
 ④は3月20日に議会へ提出された軍人年金改革法案。

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。